

情報検索指導における良い例題・悪い例題《応用編》

—データベースの特徴を紹介する方法—

仁上幸治（にかみ・こうじ／早稲田大学図書館）

■2007年11月8日（木）15:30-17:00 ■パシフィコ横浜 図書館総合展フォーラム第5会場

★当日投影したスライドショー中に含まれていなかった分を追補したものです。事後になりましたが、ホームページ上で公開いたします。（仁上幸治）

【4】応用編のまとめ

1. 映像から入る

遅刻者

PC立ち上げ

ざわつき

情報検索の象徴的暗示

2. 取り上げる順序

利用者ニーズの高い順

ILL申込の多い研究室

即時利用可能検索失敗件数の多い研究室

3. PCスキルのバラつき

学部生でも検索マニア

大学院生でも初心者

4. 情報検索のスキームを前提にしない

検索エンジン万能主義の蔓延

書誌検索と所蔵検索の違い

5. 学科目の課題の出し方

テーマ検索・事実検索より文献検索

結果より経過

読解より文献リストづくり

図書から論文へ

一般資料から専門資料へ

6. 段階的展開

有用性・利便性を実感できる例題

中級・上級ワザを習得する楽しさ

学科目の調査に応用できる喜び

7. シナリオの流れ中で

ストーリー性を重視

連続的な流れを重視

8. PC操作の小技を織り込む

ショートカットキー

ファンクションキー

9. 効果を測る

各設問の事前事後解答の比較

参加者満足度評価

本格的な効果測定

とりあえずアンケート

10. 成果の公開

全資料

アンケート結果

反響

改善案

以上